平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年２月５日

上場会社名　東部ネットワーク株式会社　上場取引所　大
コード番号　9036　ＵＲＬ　http://www.tohbu.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）芦原　一義
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役兼常務執行役員　（氏名）三澤　秀幸　ＴＥＬ　045-461-1651
四半期報告書提出予定日　平成25年２月14日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

百万円未満切捨て

１．平成25年３月期第３四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	8,754	3.1	681	72.6	716	65.5	440	8.1
24年３月期第３四半期	8,492	10.4	394	△35.7	432	△33.9	407	5.0

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	80.34	－
24年３月期第３四半期	74.33	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	18,247	14,308	78.4
24年３月期	17,895	13,939	77.9

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　14,308百万円　24年３月期　13,939百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	7.50	－	7.50	15.00
25年３月期	－	7.50	－		
25年３月期（予想）				7.50	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,513	4.2	806	59.6	833	52.0	513	14.5	93.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（注）詳細は、添付資料のＰ３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	5,749,000株	24年３月期	5,749,000株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	263,309株	24年３月期	263,230株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	5,485,758株	24年３月期３Ｑ	5,485,770株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料（第３四半期決算説明資料）は、当社ホームページに同日掲載しています。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、欧米や新興諸国の景気減速に伴う外需の減少に加え、長引くデフレ経済下に原子力発電事故による代替燃料費用等が増加し、貿易収支が悪化する状況となりました。

当貨物自動車運送業界におきましては、景気の減速によって輸送需要の低迷が長期化し、受注競争が激化しておりますうえに、燃料費の高止まりや安全対策に関わるコストの増加等で、厳しい状況下におかれております。

当社はこのような状況下、収益構造改革を具現化するため３ＰＬ事業（物流の一括受注）を推進し、車両の大型化（トレーラー化）による生産性向上投資を実施し、効果を上げることができました。

さらに、新輸送システムによる業務が拡大しておりますので、増車対応する等、積極的な営業展開を行いました。

以上の結果、当第３四半期累計期間の業績は、売上高8,754,925千円（前年同期比3.1％増）、営業利益は、３ＰＬ事業等の効果もあり681,706千円（前年同期比72.6％増）、経常利益は716,472千円（前年同期比65.5％増）となり、四半期純利益は、法人税等改正の影響を受けた前年同期と比べ8.1％増の440,725千円で増収増益となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりです。

① 貨物自動車運送事業

（第１営業部門）

清涼飲料輸送は、東部北陸物流センターと東部海老名物流センターによる取扱量の増加により、増収となりました。

びん・容器輸送は、酒類びんの出荷が減少しておりますが、軽量びんの新製品や栄養ドリンク剤のびん・容器が順調に出荷され、前期並となりました。

以上により、第１営業部門は前年同期比3.1％増となりました。

（第２営業部門）

石油輸送は、販売の減少傾向により減産基調になっておりますが、新輸送システムの稼働により輸送量が増加し、増収となりました。

化成品輸送は、合成繊維向け樹脂やＰＥＴ樹脂の市況が低迷しておりますが、輸送品質が評価され新規輸送先の受注ができましたので、大幅な増収となりました。

セメント輸送は、圏央道工事や地震・津波対策の大規模工事で輸送量が増加しており、20トントレーラー車から25トントレーラー車を導入し、輸送力の向上を図り、増収となりました。

その他輸送は、小型車の専属契約車を提供しておりますが、景気低迷により減車要請等があり、減収となりました。

以上から、第２営業部門は前年同期比6.0％の増収となりました。

この結果、関連業務の荷役作業収入を含めた当事業の売上高は、5,933,819千円（前年同期比3.6％増）となり、セグメント利益は464,752千円（前年同期比145.9％増）となりました。

② 商品販売事業

石油販売は、３ＰＬ事業の拡大による取引先の増加で、新規納入先が増加するとともに、販売単価の上昇により増収となりました。

セメント販売は、新規大型納入先が増加し、増収となりました。

車両販売等は、小型車の販売は好調に推移しましたが、大型車販売が振るわず減収となり、ソフトウエア販売につきましては前期並に推移しました。

この結果、当事業の売上高は1,857,423千円（前年同期比4.6％増）となり、セグメント利益は12,792千円（前年同期比8.4％増）となりました。

③ 不動産賃貸事業

自社提供施設は、テナント事業で一部空室がでておりますが、引続き新設の草加施設と東部北陸物流センターが貢献し、増収となっております。

借上施設は、夏期繁忙期用臨時施設の提供が荷主の合理化により不調に終わりましたので、減収となりました。

この結果、当事業の売上高は910,171千円（前年同期比1.8％減）となり、セグメント利益は390,256千円（前年同期比7.4％増）となりました。

④ その他事業

自動車整備事業は、大口受注先の移転や受注単価の低下により、減収となりました。

損害保険代理業等は、火災保険契約数は増加いたしましたが、契約単価が低下したことに加え大口の積立傷害保険契約が継続できず、減収となりました。

この結果、当事業の売上高は53,511千円（前年同期比14.2％減）となり、セグメント利益は19,298千円（前年同期比27.9％減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期会計期間末における流動資産は4,199,427千円となり、前事業年度末と比べ579,968千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が578,471千円増加したことによるものであります。固定資産は14,047,830千円となり、前事業年度末と比べ227,953千円減少いたしました。これは有形固定資産が146,811千円、無形固定資産が20,549千円、長期預金の流動資産への振替等で投資その他の資産が60,592千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は18,247,258千円となり、前事業年度末と比べ352,014千円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期会計期間末における流動負債は1,432,529千円となり、前事業年度末と比べ7,361千円増加いたしました。これは主に引当金が45,362千円減少した一方で、支払手形が83,529千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,506,551千円となり、前事業年度末と比べ23,961千円減少いたしました。これは主に長期預り保証金が26,991千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,939,080千円となり、前事業年度末と比べ16,599千円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期会計期間末における純資産合計は14,308,177千円となり、前事業年度末と比べ368,614千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益440,725千円及び剰余金の配当82,286千円により利益剰余金が358,438千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.4％（前事業年度末は77.9％）となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第３四半期累計期間の経営成績は概ね予想どおりに推移しているため、平成24年５月11日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ13,494千円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,252,994	2,831,465
受取手形	27,376	28,829
営業未収入金	1,141,263	1,170,128
原材料及び貯蔵品	30,311	27,330
その他	171,409	145,675
貸倒引当金	△3,895	△4,002
流動資産合計	3,619,459	4,199,427
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,620,113	3,489,162
車両運搬具（純額）	252,006	276,845
土地	7,520,861	7,520,861
その他（純額）	409,214	368,515
有形固定資産合計	11,802,196	11,655,385
無形固定資産	167,038	146,489
投資その他の資産		
投資有価証券	682,067	719,676
差入保証金	1,429,180	1,428,979
その他	195,304	100,199
貸倒引当金	△4	△2,899
投資その他の資産合計	2,306,548	2,245,955
固定資産合計	14,275,784	14,047,830
資産合計	17,895,243	18,247,258
負債の部		
流動負債		
支払手形	23,669	107,199
営業未払金	759,820	740,785
未払金	52,003	34,274
未払費用	180,915	178,368
未払法人税等	113,256	145,563
引当金	90,614	45,252
その他	204,887	181,085
流動負債合計	1,425,167	1,432,529
固定負債		
繰延税金負債	1,092,521	1,088,229
再評価に係る繰延税金負債	123,215	123,215
引当金	98,453	107,827
長期前受金	64,812	60,651

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
長期預り保証金	1,139,603	1,112,611
資産除去債務	11,908	14,017
固定負債合計	2,530,513	2,506,551
負債合計	3,955,680	3,939,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,031	553,031
資本剰余金	527,722	527,722
利益剰余金	13,401,295	13,759,734
自己株式	△194,955	△195,002
株主資本合計	14,287,092	14,645,485
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,271	112,493
土地再評価差額金	△449,801	△449,801
評価・換算差額等合計	△347,530	△337,308
純資産合計	13,939,562	14,308,177
負債純資産合計	17,895,243	18,247,258

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	8,492,545	8,754,925
売上原価	7,823,896	7,809,509
売上総利益	668,649	945,415
割賦販売未実現利益戻入額	933	399
割賦販売未実現利益繰入額	507	263
差引売上総利益	669,075	945,551
販売費及び一般管理費	274,110	263,844
営業利益	394,965	681,706
営業外収益		
受取利息	539	559
受取配当金	23,041	19,812
車両賃貸料	600	－
補助金収入	6,000	6,300
その他	12,682	13,054
営業外収益合計	42,863	39,726
営業外費用		
支払利息	4,572	4,949
その他	354	10
営業外費用合計	4,926	4,960
経常利益	432,902	716,472
特別利益		
固定資産売却益	15,317	14,640
特別利益合計	15,317	14,640
特別損失		
固定資産売却損	－	83
固定資産除却損	140	2
ゴルフ会員権評価損	－	300
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	－	2,896
特別損失合計	140	3,282
税引前四半期純利益	448,079	727,831
法人税、住民税及び事業税	170,038	275,627
法人税等調整額	△129,737	11,478
法人税等合計	40,301	287,106
四半期純利益	407,778	440,725

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）２	四半期損益計算書計上額（注）３
	貨物自動車運送事業	商品販売事業	不動産賃貸事業	その他事業（注）１	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,728,273	1,775,082	926,787	62,402	8,492,545	－	8,492,545
計	5,728,273	1,775,082	926,787	62,402	8,492,545	－	8,492,545
セグメント利益	189,035	11,806	363,219	26,781	590,842	△195,877	394,965

（注）１．「その他事業」は、自動車整備業及び損保代理業等であります。
２．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．報告セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書計上額（営業利益）と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）２	四半期損益計算書計上額（注）３
	貨物自動車運送事業	商品販売事業	不動産賃貸事業	その他事業（注）１	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,933,819	1,857,423	910,171	53,511	8,754,925	－	8,754,925
計	5,933,819	1,857,423	910,171	53,511	8,754,925	－	8,754,925
セグメント利益	464,752	12,792	390,256	19,298	887,099	△205,393	681,706

（注）１．「その他事業」は、自動車整備業及び損保代理業等であります。
２．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．報告セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書計上額（営業利益）と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。